

工事の進捗

■堤防工事の影響

防潮堤の工事が進み、それに伴って導流堤も再工事が行われている。Fig.1は導流堤に設置されている通水部のパイプである。以前設置されていた一部を低くした通水部（Fig.2のような段差がない。そのため、水の出入りがスムーズであるように思われる。

また、Fig.2の通水部であったときは、イシガレイの稚魚は潟湖内ではほとんど採集できなかった（先月は一匹採集）。しかし、今回の調査では7匹採集することができ、これも段差がないことが影響していると思われる。



(Fig.1 通水部のパイプ)



(Fig.2 以前の通水部)

■潟湖内の個体は大きい

上記のように、今回の調査では、久しぶりにある程度の数のイシガレイを潟湖内で採集することができた。Table.1は、採集したイシガレイの大きさと数を示している。潟湖内で採集した個体は大きい傾向があり、これは過去に潟湖内で多数採集できた時期と同様である。これまでの調査では、遊泳力のある大型の個体が潟湖内に進入するのではないかと考えている。

全長 (cm)	1.5cm	2.0cm	2.5cm	3.0cm	3.5cm	4.0cm	計	平均全長
個体数 (匹) (河口域)	1	9	5	1	1	0	17	2.3cm
個体数 (匹) (潟湖内)	0	1	1	4	0	1	7	2.9cm

(Table.1 イシガレイの全長と個体数)



(Fig.3 七北田川河口で採集したイシガレイ)



(Fig.4 潟湖内で採集したイシガレイ)